



パーム油と森林破壊 —日本の経済活動に与えるリスクと影響—

日時：2013年9月11日（水）13:30～18:30（13:00 開場／受付）

※入場無料※

場所：TKPガーデンシティ竹橋 ホール10C

※定員100名・先着順※

千代田区一ツ橋1-2-2 住友商事竹橋ビル10階（最寄駅：竹橋駅、神保町駅、九段下駅）[地図はコチラ](#)

■セミナーの主旨■

パーム油は、世界でもっとも多く生産されている植物油であり、食品をはじめとして化粧品や石鹸・洗剤など身の回りの多くの製品に利用されています。しかし、便利な油であると同時に、アブラヤシ農園を開発・栽培する過程では、多くの環境問題が取りざたされているのも事実です。

5月に公表された「GRIガイドライン第4版」でサプライチェーン指標が強化されたように、今後はさらに企業が原材料調達まで適正に把握し、伝える必要性が高まっています。パーム油についても、油の生産者から加工業者、最終製品製造者まで全てのサプライチェーンに関わる企業が、原料として利用するパーム油の抱えるリスクを理解しておく必要があると言えます。

パーム油の2大生産地であるマレーシアとインドネシアでは、アブラヤシ農園の開発を原因として、年々森林破壊が進み深刻な問題となっています。今現在も森林減少は止まることなく続いており、禁止されている野焼きによる森林火災や、国立公園内での違法栽培といった違法行為も報告されています。

このような問題に対し、欧米を中心としてパーム油の不買運動なども展開されており、日本でも無関係とは言えません。近年ではパーム油の国際的な認証制度も徐々に広まりつつあり、トレーサビリティを確認する唯一の解決策として機能するようになってきています。

本セミナーでは、パーム油のユーザー企業として、知っておくべきこと、そして海外ではどんな対応があるのかなどを紹介することで、何をすべきか一緒に考えるきっかけとなれば、と考えています。

プログラム（予定） 13:00 開場／13:30 開会 18:30 終了 ※逐次通訳付きです

- 13:40-15:10 報告①「アブラヤシ栽培における違法性」
WWFインドネシア市場変革チームサブリーダー イルワン・グナワン
- 15:20-16:50 報告②「パーム油の調達に関わる国際的な取り組みと海外の状況」
RSPO副理事／WWFパーム油グループ代表 アダム・ハリソン
- 17:00-17:25 質疑応答
- 17:30 閉会
- 17:30-18:30 名刺交換会（任意参加／自由退出）

【対象者】

パーム油利用企業、またはパーム油に興味のある企業の皆様

【お申込方法】

専用URL（<https://krs.bz/wwfjapan/m?f=231>）より必要事項を送信、またはメール（forest@wwf.or.jp）にて事前にお申込みください。定員は100名、先着順にて受付いたします。

<お問合せ先>

WWF ジャパン
自然保護室 森林グループ
担当：南、橋本
TEL：03-3769-1364
Email：forest@wwf.or.jp
〒105-0014
東京都港区芝 3-1-14
日本生命赤羽橋ビル 6階